

「国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催

企画調整室

関東森林管理局では、「開かれた国民の森林」の実現に向け、国有林野等が所在する地域の市町村長との意見・情報交換を目的とした会議を毎年開催しています。

今年度は、去る11月14日（水）に各地域の代表市町村長等14名と林野庁から百崎管理課長、吉村特用林産対策室長、関東森林管理局から岡田局長、木下次長及び関係森林管理署長等ほか関係者が出席し、東京都江



挨拶する岡田局長



市町村長との意見交換

東区の木材会館で開催しました。会議の冒頭に、岡田局長より、国有林野事業の管理経営等に対するご支援へのお礼や森林・林業再生に向けた関東森林管理局の取組の紹介等の挨拶を行いました。続いて、林野庁より新たな森林計画制度や平成25年度林野庁関係予算概算要求等の中央情勢について、関東森林管理局からは、管内の森林共同施業団地やフォレスト・研修、森林の除染等及び海岸林等の復旧などの取組について説明を行いました。

各市町村長等からは、森林管理・環境保全直接支払制度に係る森林整備や公共建築物の木造化などの木材利用の促進、木質バイオマス発電に係る木材供給、近年深刻化している鳥獣被害への対策、森林の除染など、多岐にわたる発言があり、これらの考え方等について林野庁・関東森林管理局から説明するなど活発な議論がなされました。

最後に木下次長より、各市町村長等よりいただいた貴重なご意見・要望等について、関係森林管理署等と連携して期待に応えるよう努めていくこと、また、森林・林業の再生に向け、民有林・国有林の連携を一層強化していくことを表明して、会議を終了しました。

関東森林管理局では、伺ったご意見・要望等を踏まえ、引き続き、開かれた「国民の森林」として、国民視点にたった国有林野の管理経営に努めて参ります。

森林官能力向上研修を実施

「民国連携に向けたスキルアップを目指して」

去る10月30日～11月2日及び11月6日～9日の2回にわたり、今年度から新たに計画された「森林官能力向上研修」が実施されました。

本研修のねらいは、「森林・林業の再生に向けた新たな取組への対応と、国有林野事業の一般会計化に対応し得る人材を育成するため、特に民国連携の推進や民有林支援に繋がる知識の習得と技術の向上を図る」とこととされています。

今回の受講対象者は、現場に携わ



池田計画部長の講義

る森林官を中心に署等係長や係員を含むとされており、その職務や経験も多岐にわたる方々が集まりました。カリキュラム構成は、大きく分けて前半の講義形式と後半のグループ演習とし、3泊4日の日程で行われました。

初日、池田計画部長からは「森林・林業再生プラン」を基に森林計画制